

## LITERATURE SUMMARY

GORE® TAG®

Conformable Thoracic Endoprosthesis



# コンフォーマブル ゴア® TAG® ステントグラフト 前向き多施設試験の長期成績<sup>1</sup>

胸部下行大動脈瘤患者におけるコンフォーマブル TAG® ステントグラフトの安全性と有効性を評価した、前向きシングルアーム多施設共同試験（治験）。

**66**名 登録患者数

57.6% 紡錘状大動脈瘤

42.4% 嚢状大動脈瘤

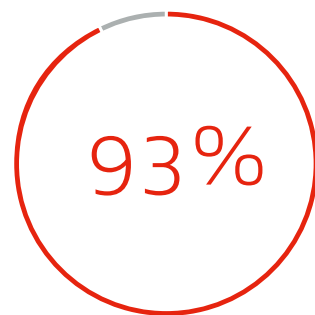
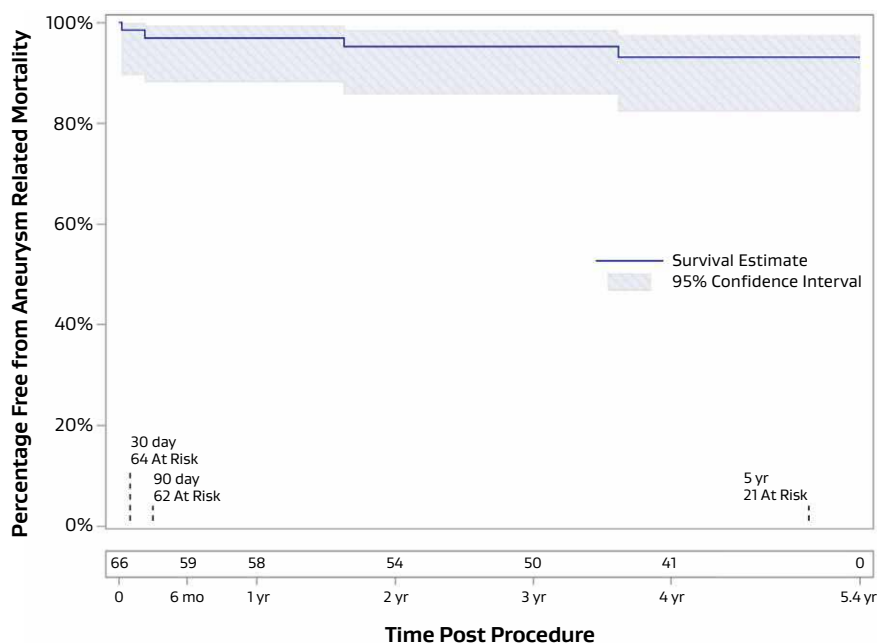
**0**件\*

Type III エンドリーク

ステントグラフト破損

ステントグラフト潰れ

\* 5年間を通しての成績

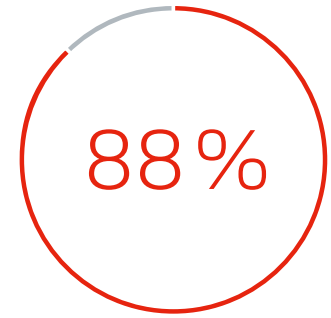
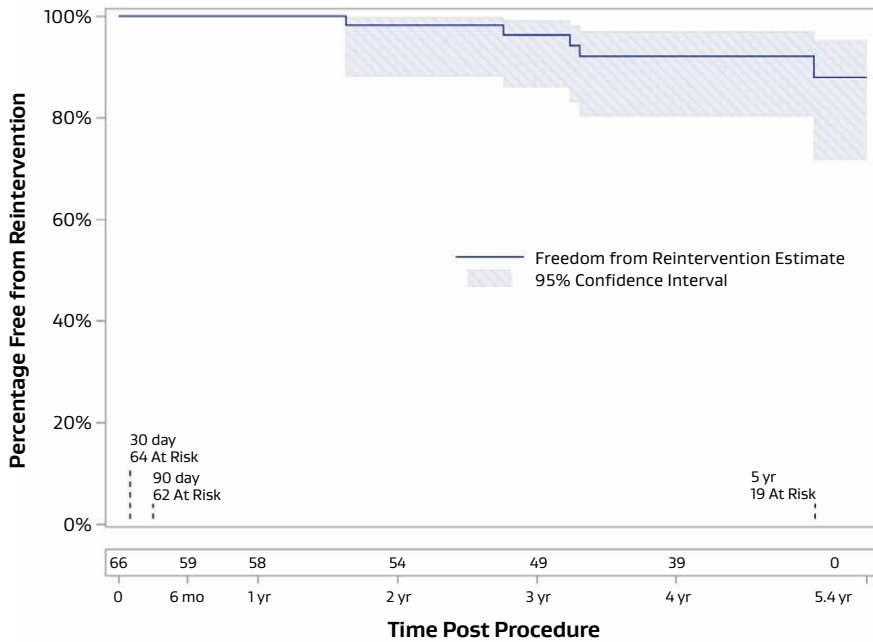


瘤関連死亡回避率

5年で93%

Together, improving life





デバイス関連再インターベンション回避率 5年で88%

コアラボによるすべてのフォローアップ検査において3件のみ Type Ia エンドリークを認められた。1件は留置1か月後、1件は留置6か月後(後に5年間を通して type 不明のエンドリークとされた)、1件は留置3年後に発生し再治療を要した。これに加えて3例で遅発性エンドリークが認められ(1例は Type Ib、1例は Type II、1例は Type 不明)、2例が再治療を受け、1例が再治療を望まなかった。

#### コアラボによる瘤径変化の評価

Variable	12 Months (n = 55)	24 Months (n = 49)	36 Months (n = 39)	48 Months (n = 34)	60 Months (n = 28)
Change in diameter from baseline					
≥5-mm Decrease	27 (49.1)	26 (53.1)	23 (59.0)	15 (44.1)	14 (50.0)
No change	27 (49.1)	23 (46.9)	13 (33.3)	16 (47.1)	9 (32.1)
≥5-mm Increase	1 (1.8)	0 (0.0)	3 (7.7)	3 (8.8)	5 (17.9)

また、長期の観察を通じて優れた動脈瘤縮小率が確認され、症例の50%において5年で5mmを超える動脈瘤の縮小を認めた。

- Jordan WD, Desai N, Letter AJ, Matsumura JS. Long-term outcomes of the CTAG thoracic endograft in a prospective multicenter trial. *Journal of Vascular Surgery* 2021;74(5):1491-1498. open access <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0741521421007485>

80%以上の患者は5年間を通じて瘤拡大の回避が確認された

コンフォーマブル TAG<sup>®</sup> ステントグラフトは、遠隔期のエンドリーク抑制と動脈瘤拡大の回避というデバイスの長期的耐久性を示す2つのエンドポイントにおいて良好な結果を示した

